



学芸会を通して育む力

校長 羽田野庸史

2学期も半ばになりました。11月は、学芸会があります。東町小では、学習発表会として学芸会と展覧会をそれぞれ隔年で行ってきました。今年は学芸会の年にあたります。1・2年生にとっては初めての、5・6年生にとっては小学校生活最後の学芸会となります。どの学年の児童にとっても思い出に残る学芸会にしたいと思います。

学芸会の「学芸」というのは、「学問」と「芸術」のことで、学芸会は、学業の成果を劇や音楽を中心にして発表する会ということです。学芸会では、次の3つのことを重点的に子供たちに指導します。

- ①力を合わせて、一つのを創り上げる。
- ②一生懸命練習したことを力一杯楽しく演ずる。
- ③きまりを守って静かに見る。

この中でも、②の「演ずる」ことの前提としてどの学年にも共通に以下の点を頑張らせたいと考えています。

- 話の内容、登場人物のキャラクターを理解する。
- 大きな声で、言葉をはっきりと話す。
- 動作を付ける。

そして、このことに加え、低・中・高学年の発達段階に応じて、以下の点を重点的に指導します。

- [低学年] ・立ち位置に気を付ける。
- [中学年] ・“間”を取る。
- [高学年] ・言葉をかぶせる。
・台詞がないときの動作を工夫する。

学芸会に向けて、子供たちが、めあてをもって取り組み、進んで練習したり、友達と協力して劇をよりよくする工夫をしたりすることで、子供たちの成長を促していきたいと思います。

【特別支援教室開設について】

10月16日付で港区教育委員会からの「平成28年度より『特別支援教室』を全区立小学校で実施します」というプリントを1～5年生の保護者に配布しました。来年度より港区内の全ての公立小学校で「特別支援教室」が開設されます。一部特別な支援を必要とする児童に対して、週に1～8時間、校内に設置された特別支援教室で特別な指導を行います。詳細については、主任養護教諭の山岸までお問い合わせください。

11月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	日		
2	月	安全指導 都教育長訪問 委員会活動	4年
3	火	文化の日	
4	水	お話会④ 研究授業(3年1組) 4時間授業(3年1組以外)	なし
5	木	お話会⑤	6年
6	金	お話会⑥ 避難訓練	2年
7	土		
8	日		
9	月	親子読書カード提出	3年
10	火		5年
11	水	4時間授業	なし
12	木	児童集会	6年
13	金	学習発表会	なし
14	土	学習発表会 開校記念日	なし
15	日		
16	月	クラブ活動	5年
17	火	1年生生活科見学	4年
18	水	研究授業(4年2組) 4時間授業(4年2組以外)	なし
19	木	音楽朝会 1年生生活科見学予備日	3年
20	金	6年個人面談①	2年
21	土	日本文化の時間	なし
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火	6年個人面談②	6年
25	水		4年
26	木	音楽集会 就学時健診(5年以外4時間授業)	なし
27	金	六本木アカデミー研究授業(4時間授業)	なし
28	土		
29	日		
30	月	個人面談①(5時間授業)	なし

11月の生活目標

生活指導担当 三根 博喜

力を合わせてやりぬこう

係・委員会などの奉仕活動、行事における体験活動を通して、くじけずやり遂げようとする意欲や思いやりの心を育てていきます。

2年生より～生活科の学習～

2年担任 足立 明子
黒江 綾菜
山口 真由

4月の始業式から6か月あまりが経ちました。1年生の時とは違う2年生としてのお兄さんらしさ、お姉さんらしさが生活科や日本文化の時間に見られるようになっていきます。

9月からの生活科で取り組んだ「はっけん くふう おもちゃ作り」では、1年生にも楽しく遊んでもらおうと「風で動く車」を作りました。

身近にある材料（食品トレーやペットボトルのキャップなど）を使い、世界に一つしかない自分だけの車を作りました。作ってみると思うように動かない車もあり、友達と見せ合い、アドバイスをし合って、車体を軽くしたり風受けを大きくしたりして、よく動く車に仕上げました。

1年生と一緒に車で遊ぶ中で、交流を深め、お兄さん、お姉さんとしてどう接していくかを学んでいかせたいと思います。

また、学習発表会に向けての練習も本格的に始まりました。みんな張り切って練習をしています。



算数少人数指導について

算数少人数指導担当 鈴木 明美

学習指導要領では、どの教科でも言語活動の充実が重視されています。算数は、まず自分の考えをもち、図や式などを用いて、友達と交流する中で互いの考えのよいところを見つけ、考えをさらに深めていく学習になるよう工夫しています。また、単元の内容や児童の興味や関心に応じて3年生以上は、習熟度別のコースで学習を進めています。

コースは、レディネステスト等で児童の実態を把握し、ゆっくり・のびのび・ぐんぐんなど学年を2つのコース（担任・少人数担当）や3つのコース（2人の担任・少人数担当）で学習指導を行っています。児童一人一人の興味・関心に応じた教材・教具の工夫などを行い、学習意欲の喚起や学力向上に努めています。

学習の様子は、東町小学校ホームページや算数少人数教室の掲示等をご覧ください。



歴史のバトンをつないで ～開校記念日を迎えるにあたって～

副校長 宮島 淳一

1913年（大正2年）11月14日に、東町小学校は、「東京市東町尋常（じんじょう）小学校」という校名で産声をあげました。開校当時の学級数は、ほぼ現在と同じ11学級から出発しました。児童数は、なんと607名もいたそうです。校舎は木造2階建てで、校庭には小石が敷き詰められていました。たくさんの児童たちは、どんな生活を送っていたのでしょうか。今では想像もできないですが、チャイムや放送もなかったし、もちろんテレビもない時代です。それでも、児童は、いきいきと学校生活を送っていました。スポーツが盛んで、水泳競技大会では優秀な成績をおさめていたと伝え聞いています。関東大震災や太平洋戦争という困難な経験乗り越え、韓国の小学校と姉妹関係を結んで国際理解教育に取り組み始めました。また、異学年集団ファミリー活動も開始しました。

平成の今、なわとび大会などのスポーツ盛んな行事や国際色豊かな雰囲気、そして今も続いているファミリー活動は、東町小学校の先輩が創ってくれた歴史を脈々と繋いできた結果なのです。歴史のバトンを未来の東町小へ、しっかりと繋いでいきたいものです。

東町小学校102周年おめでとう！